

住民の声



高校生
齋藤 さつき さん

私たち高校生は、通学にバスを利用している人もいます。バイクが雨や雪の日には、バイクでの通学ができません。私の送り返す人も容易ではありません。そこでバスが必要となるのです。

マイカーを利用しない通勤者もバスを頼りにしています。また、病院通いのお年寄りやちよとした用事で町へ出かける時、必要とするのも、やはりバスなのです。このように私たちが住民にとってバスはなくてはならない貴重なものなのです。これをなくしてしまつては、とても都合なことになると思います。また、寂しいことだと思います。

んか。私たちが生れる前から走り続けてきたこのバスを、みなさんが走りあげてきたこの歴史を、いま秋畑住民全体の力で守ろうではありませんか。



婦人代表
田村 トモ子 さん

住民の中には、どこかへ行くたくても車の運転のできな人がたくさんいます。もし、この路線バスが廃止されたらこうした人たちは、大動脈を切られたような感じを受けると思います。

まして、中年以上の方は、病院へ通う回数も多くなるというのに、弱者も多くあるバスのなくなつたら毎日不安な生活を送らなければなりません。厚生病院ができてバスがなくなつたら行くこともできなく入ります。

人の出入りがあつてこそ文化の交流があるというのに、これでは、文化腐たいの道をたどる一方だと思います。

町の過疎化を防ぐためにもみなさんのご協力をぜひお願いします。



小学生
中野 美香 さん

私たちが高校生になった時バスがなければ困ります。

秋畑の財産

バスを救おう



高校生
飯塚 和美 さん

いま、秋畑から上信バスがなくなるかどうかと言ふ重大な問題が起っています。それは、バスの利用者が少ないことが原因だそうですが、毎日バスを利用している私にとつて大変ショックなことでした。幼稚園児を送り迎えする人たつたつて、バスがあるから

歩いて行くにも行けないし、自転車に乗つて行つても時間がかかつてしまいます。それが、お年寄りの人は自分で車を運転できない人もいますので子供から大人まで、みんな困ります。だからバスを廃止させないで、秋畑へバスが来るようお願いします。



こそ安心していられるし、雨の日に自転車やバイク通学の生徒がぬれずに、また、カゼをひかすに行けるのもバスが通っているからです。

もし、秋畑からバスがなくなれば、影響を受けるのは学生だけではなく、大人の人たちだけで、買い物や通院に車で行かなくてはならず、交通がよけいに不便になります。電車の通らない秋畑から、バスがなくなつたら大変困ります。廃止にならないよう、みんなでこの問題を真剣に取り組むべきだと思います。



老人代表
松井 猛次 さん

私たちがお年寄りの中には、ゲートボールの練習に行くにもバスを利用している人がたくさんいます。もし、バスがなくなつたりでもしたら、たつたひとつの楽しみが奪われてしまつと、嘆くおばあさんもあります。

現在秋畑には六十歳以上のお年寄りが三百人近くいます。が、急病などになつた時、家に運転手のいないお年寄りや、また、いても動機等で後援は利用できないお年寄りにとつて、バスが唯一の頼りなのです。

老人ばかりでなく日本の未来を築く子供たちの足を奪うことにもなります。いかに補助金が打ち切られようとも、絶対に見捨てることのできな重要な問題であり、みんなが意思を統一して存続の道を切り開かなければ、秋畑地区は隣の孤島にならねえ。どうかみなで協力して、老人や子供たちの足を守つてください。